

瑞牆 Joyful Moment

2017年6月12日(月) 晴れ

メンバー：L坂野・A子(非会員)・松野(記)

どこのマルチピッチへ行こうかと話していたところ、坂野君がジムの「ROCK&SNOW」のバックナンバーを持ってきて、瑞牆の Joyful Moment はどうかと提案してきました。このルートは佐藤裕介さんが開いたルートでありながら、最高グレードが 5.9 と、私たちにも登れる見込みがあったので、瑞牆入門のつもりで行ってみることにしました。メンバーに元会員の A 子さんを加え 3 人で行ってきました。

瑞牆の植樹祭駐車場から目的地の十一面奥壁までのアプローチは、通常なら迷ってしまいそうですが、2015年に発行された「瑞牆クライミングガイド」に細かくルートが記載されていて、1時間40分ほどの山登りで無事にたどり着くことができました。



リード順はここ最近、ジャンケンで勝ったほうが1P目を登るという決め方にしています。今シーズンはまだ登り慣れていないというA子さんを除き、ふたりでジャンケン！

【1P目】 5.9 20m 松野リード

左上する広くて浅いクラックをたどります。思ったより易しく 5.9 はないかな？ といった感じでした。2P目は簡単なバンド歩き（5.6 15m）だったのでそのまま私がロープを延ばしました。



【3P目】 5.9 40m 坂野リード

大きなフレークが2枚重なったようなクラックからスタートします。上部でルートが分かれ、坂野君は最初左へ出たようですが、さらに上でロープの流れが悪くなったとのことで途中までクライムダウン、今度は右のフレークのほうへルートを取り直しました。このピッチは適度な緊張感とムーブの楽しさで、個人的には一番のピッチでした。



【4P目】 5.8 15m 松野リード

トポに“ワイド登りに慣れていないと奮闘する”と書いてあり、ちょっと覚悟して取り付いたのですが、傾斜が緩くスタックしやすかったので、私でもなんとかなりました。

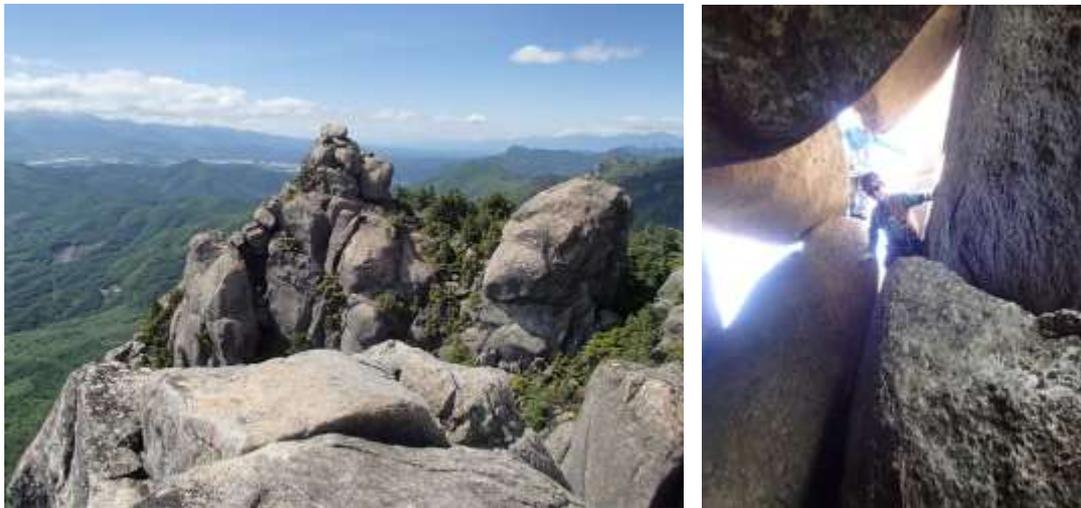


【5 P目】 5.7 20m 坂野・A子リード

ロープの結び直しはせず、4 P目セカンドだったふたりがそのままリード、巨岩を縫って、最後はあまいハンドでピークへ出て登攀終了となりました。



ピークからは瑞牆の奇岩群と裾野に広がる深い森、遠くに八ヶ岳や南アルプスが見渡せ、まるで山頂に登り詰めたような爽快感がありました。下降はピークから岩の隙間を歩いて降り、シャクナゲが咲き誇るなかの踏み跡をたどって行くと10分ほどで取り付きに戻ってこられました。



帰りはトポを片手に、十一面のその他の岩場を下見しながら下山しました。もっと上手くなって、瑞牆でもたくさん登れるようになれるといいのですが。

以上